

平成 15 年 6 月 18 日

## ㈱だいこう証券ビジネスとグローリー工業㈱が 株主総会議決権行使の集計支援システムを共同開発

株式会社だいこう証券ビジネス  
代表取締役社長 竹内透  
(登録銘柄 コード番号 8692)  
グローリー工業株式会社  
代表取締役社長 西野秀人  
(登録銘柄 コード番号 6457)

### 【概要】

この度、株式名義書換代理人の株式会社だいこう証券ビジネス(以下:「だいこう」といいます。)とグローリー工業株式会社(以下:「グローリー」といいます。)は、「だいこう」の株式事務ノウハウと、「グローリー」の情報処理センター(以下:「GCAN センター」)を利用した情報処理およびイメージ処理技術などお互いの強みを活かし、パソコンシステムとインターネットを利用して、株主総会開催時において発行会社に返送される議決権行使書面の集計ならびに株主総会受付時の株主確認、二重行使チェック、議決権個数集計が簡便にできるシステムを開発して新たなサービスの開始に向けて準備を進めています。

本システムは、昨年の株主総会の電子化法制に対応して、既に稼動しているウェブサイトによる議決権行使や招集通知を電子メール送信するシステムと完全に一体となり、「株主総会ITシステム」として総合的な機能を提供するサービスとなっております。

### 【「議決権行使集計支援システム」の特徴】

- 株主総会の電子化を採用するには(紙媒体の)議決権行使書の集計事務を代行会社に委託する必要がありましたが、本サービスを利用すれば自社で集計処理しながら株主総会電子化の採用が可能となります。
- 議決権行使書を専用スキャナーで読み取りますと、独自開発したイメージ処理技術で議案行使内容を自動的に判別し、簡単な確認作業のみでデータ入力が可能となるため、手作業による煩雑な作業負担の軽減と効率化が図れます。
- 入力した行使データをインターネットで「GCAN センター」に送信することで、議案別、役員候補者別などの各種集計結果がウェブサイトですぐ閲覧できます。
- 株主総会の電子化を採用した場合、議決権行使書(書面)とウェブサイトによる議決権行使との二重行使チェックをシステムで行い、合算結果を自動集計いたします。
- 株主総会当日の受付時に、議決権行使書面に印刷された QR コード(二次元バーコード)を専用リーダーで読み取ることで、事前行使済データと自動的にシステムチェックされ、当日出席および総議決権個数の集計が即時に行えます。
- 受付時に株主確認のため、株主氏名、住所の即時検索機能があります。

#### 【安全性】

本サービスで最も重要なセキュリティについては、経済産業省の「情報処理サービス業情報システム安全対策実施事業所」認定を受けた「グローリー」の「GCAN センター」が担います。

「GCAN センター」は、これまで量販店や医療機関など多くの業種業態で、デビットカードによる決済代行業務、さらにはクレジットカードの通信代行業務で培った信用を得ております。これまでの数々の経験と実績を基に、ブラウザとの間で交わされる個人情報の通信やウェブサイトから発信される情報の改ざん・成りすまし等の防止にも万全の対策が施されています。

#### 【今後の展開】

今後、「だいこう」は、今回の議決権行使集計支援サービスを機に、IT時代に対応したネットワークを駆使しての株式業務はもちろん、幅広く証券業務全般に対応したアウトソーシングビジネスを展開してまいりたいと考えています。

また、「グローリー」は、この度の株式業務支援サービスを現在展開中のASP事業のひとつと位置付け、さらなるIT化時代に対応すべく「GCAN センター」を介したサービスの提供と製品の融合を図り、ネットワークソリューションを実現し、お客様のニーズにいち早く応えてまいります。

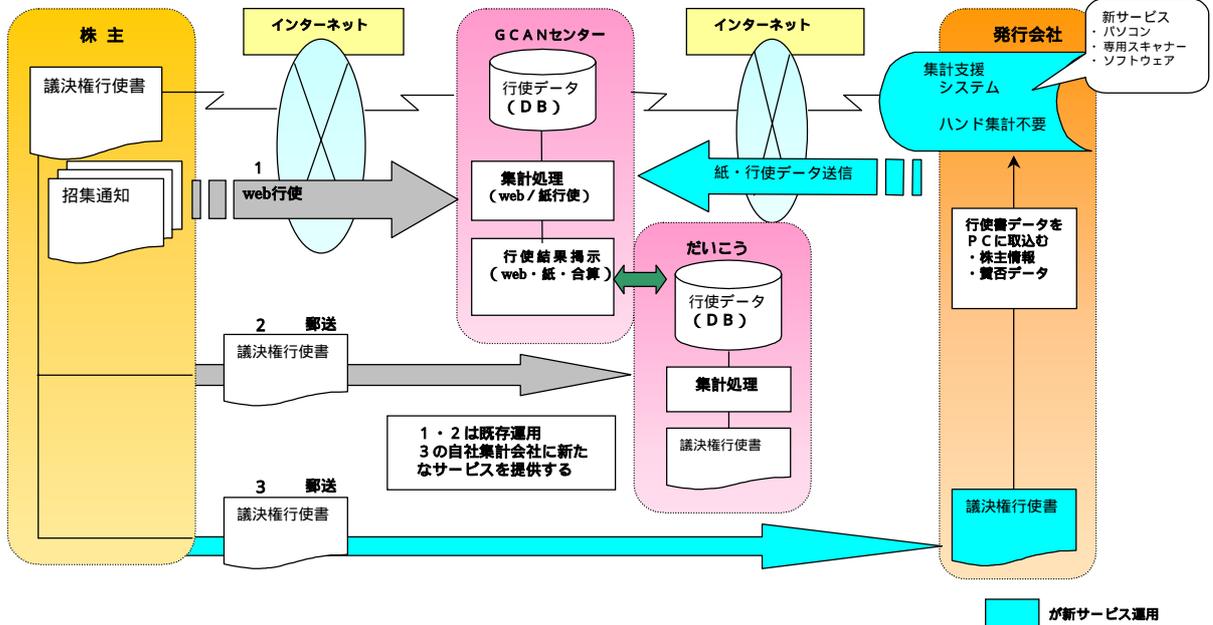
#### 【本件お問い合わせ先】

だいこう証券ビジネス株式会社 証券代行部 中町  
電話(06)6233-4564(直通)

グローリー工業株式会社 広報室 藤田または櫻井  
電話(06)6361-7049(直通)  
または(0792)94-6317(直通)

**【議決権行使集計支援システム概要】行使書集計自社処理会社をサポート**

「だいこう」が新たにサービス提供する「議決権行使集計支援システム」は、発行会社の電子化採用・不採用にかかわらず利用できます。発行会社での煩雑な議決権行使書集計処理が不要となります。株主総会当日受付システムにも連携（PCによる株主存在確認、事前行使および二重行使のチェック、その他検索機能、当日出席者一覧作成等）



「議決権行使集計支援システム」  
 ・インターネット環境とパソコンおよび専用スキャナーの組合せで運用可能。  
 ・専用スキャナーで、QRコード（株主情報）と、株主が投票した行使書の賛・否データを同時に読み取り、そのデータをパソコンに取込んだ後データをGCANセンターに送信する。  
 ・集計処理はすべてGCANセンターで行う。（会社・株主提案/各議案別/候補者別/大株主/その他各集計）  
 ・行使結果はGCANセンターの専用サイトに掲示する。（日報/速報・累計/集計最終報告書等）  
 ・（発行会社は、専用の閲覧ID・パスワードで自社閲覧サイトへアクセスし行使結果を確認する）